



2017年4月11日

各 位

会 社 名	キョーリン製薬ホールディングス株式会社
代 表 者 名	代表取締役社長 穂川 稔 (コード番号 4569 東証第1部)
問 合 せ 先	社長室 コーポレートコミュニケーション部長 宮木 修次
電 話	03-3525-4707

～開発中の過活動膀胱治療剤「KRP-114V」～

米国メルク社からアジア地域におけるライセンス取得

キョーリン製薬ホールディングス株式会社（代表取締役社長：穂川 稔）の子会社である杏林製薬株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：宮下 三朝、以下「杏林製薬」）は、開発中の過活動膀胱治療剤「KRP-114V（一般名：ビベグロン）」について、この度、Merck & Co., Inc., Kenilworth, N. J., U. S. A.（以下「米国メルク社」）とアジア地域におけるライセンスを取得する契約を締結いたしました。今回の契約は、2014年7月に杏林製薬が米国メルク社と締結した日本国内におけるライセンス契約の範囲を、アジア地域に拡大するものです。今回の契約締結により、杏林製薬は韓国・台湾・香港・ASEAN10カ国における本剤の独占的な開発権及び製造販売権を取得いたします。

本剤は、米国メルク社により創製された選択的 $\beta$ 3アドレナリン受容体作動薬で、1日1回投与の過活動膀胱治療剤として開発中です。杏林製薬は、2016年3月に、キッセイ薬品工業株式会社と共同開発及び共同販売に関する契約を締結し、現在日本国内において両社でPh3試験を実施中です。

杏林製薬は泌尿器科領域を重点領域のひとつと位置づけており、製品ラインアップの拡充とプレゼンス確立に向け、日本国内で本剤の開発を進めております。今回の契約締結により、日本国内のみならず、アジア地域における本剤の権利を取得したことで、現在アライアンス・パートナーを通じてアジア地域で展開中の過活動膀胱治療剤「ウルトス<sup>®</sup>錠」に加え、過活動膀胱の諸症状に苦しむ患者さんのQOL改善のため、一層貢献できるよう努めてまいります。

なお、本契約締結による2017年3月期の連結業績予測に与える影響はございません。

以 上